

2016年 林業経済学会秋季大会 報告プログラム

11月12日(土)

自由論題報告A 教養講義室棟1号館1階 102教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:30 - 10:00	道中 哲也・他	A1	Measuring forecasting accuracy -A case of forecasting monthly prices of Japanese <i>sugi</i> and <i>hinoki</i> logs by exponential smoothing and ARIMA models-
10:00 - 10:30	岩永 青史・他	A2	競争要因モデルで見る合板企業の製造戦略
10:30 - 11:00	志賀 薫・他	A3	都道府県単位でみた木材利用ポイント事業への対応と単独住宅政策との関連性 -四国4県の分析を中心として-
11:00 - 11:30	金山 知広	A4	並材産地の国産材原木需要変化に対する適応と課題 -東三河地域製材工場の需要構造の解明-
11:30 - 12:00	吉野 聡	A5	群馬県における木材の直送による変化と課題
昼食			
13:00 - 13:30	梶間 周一郎・他	A6	木材における地域団体商標の動向 -なぜ地域団体商標を申請するのか？-
13:30 - 14:00	石井 宏一郎・他	A7	木製パレット部材生産における製材所の形態分類と方向性 -北海道の調査を事例として-
14:00 - 14:30	立花 敏・他	A8	家具産業にみる国産材利用拡大に向けた課題と政策の影響 -大川家具産地を事例に-
14:30 - 15:00	早船 真智・他	A9	日本の製紙産業における原料調達システムの変遷 -総合商社によるチップ輸入体制に注目して-
15:00 - 15:30	張 靈悟・他	A10	中国の紙・パルプ産業の展開と製紙企業の実態 -中国・山東省を事例に-
15:30 - 16:00	大地 俊介・他	A11	宮崎県におけるスギ挿木苗の需給調整状況 -主に苗木生産者の供給行動に着目して-
16:00 - 16:30	大石 卓史・他	A12	人工栽培マツタケに対する消費者選好
16:30 - 17:00	林 宇一・他	A13	為替レートが木材価格に及ぼす影響に関する研究

自由論題報告B 教養講義室棟1号館2階 202教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:00 - 9:30	興侶 克久・他	B1	「緑の雇用」におけるOJT指導員の意識
9:30 - 10:00	林田 朋幸	B2	大規模林家の山林管理における林業労働組織の実態と変容過程 -三重県松阪市飯高町の林業労働者の日報分析をもとに-
10:00 - 10:30	芳賀 大地	B3	森林組合の人材育成体制 -鳥取県の3組合を事例として-
10:30 - 11:00	田村 典江	B4	地域起こし協力隊を利用した林業就業の取組 -鳥根県津和野町の事例から-
11:00 - 11:30	枚田 邦宏・他	B5	森林施業プランナーの育成に関わる現状と課題
11:30 - 12:00	木村 憲一郎	B6	地域を基軸とした都道府県林政の変化と課題 -福島県における林業普及指導活動を中心とした分析から-
昼食			
13:00 - 13:30	曾我部 萌	B7	小規模自治体における森林資源活用の取り組み -北海道中川町を事例地として-
13:30 - 14:00	柿澤 宏昭	B8	自治体林政に関する研究史 -自治体林政研究の今日的課題は何か-
14:00 - 14:30	藤掛 一郎	B9	2015年農林業センサス林業経営体調査の分析
14:30 - 15:00	本多 俊貴	B10	農林複合経営システムの形成期にみる農家林家の村落協働 -宮崎県諸塚村黒葛原の事例-
15:00 - 15:30	伊藤 勝久・他	B11	農業継続を動機とした森林管理の方法 -農業法人による農地・森林の一体的管理の事例から-
15:30 - 16:00	佐野 英樹・他	B12	都市近郊林における市民による森林管理の可能性 -森林経営計画制度に着目して-
16:00 - 16:30	富井 久義	B13	森林ボランティア活動団体の現状と課題 -森林づくり活動についての実態調査(平成27年調査)の分析から-
16:30 - 17:00	鳶田 栄樹・他	B14	社会的相互作用が森林所有者の自発的参加行動に与える影響 -集約化施業プログラムのミクロ計量経済分析-

11月12日(土)

テーマ別セッション② 農山漁村の暮らし・生業の記録、およびそれらの活用に向けた基礎的研究 教育学部棟2階 20教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:30 - 9:40	柴崎 茂光	C1	セッション立ち上げの趣旨説明
9:40 - 10:10	柴崎 茂光	C2	屋久島における映像を用いた生業研究の可能性
10:10 - 10:40	奥山 洋一郎・他	C3	鹿児島大学高隈演習林における林内集落の展開過程
10:40 - 11:10	赤池 慎吾・他	C4	「魚梁瀬森林鉄道と暮らし」のオーラルヒストリー研究
11:10 - 11:40	八巻 一成・他	C5	北海道における林業遺産保存の現状と課題
11:40 - 12:10	T. E. Jones・他	C6	Investigating National Parks and Place Branding -A Case Study of the Peak District Environmental Quality Mark-
昼食			
13:00 - 13:30	三木 敦朗	C7	地域の近現代森林史の記録と教育資料としての利用
13:30 - 14:00	小菅 良豪・他	C8	「修羅だし」の構造と林業技術の継承
14:00 - 14:30	高野 涼・他	C9	東北農山村の生活実態と意識について -宮城県登米市東和町米川地区を事例として-
14:30 - 15:00	葉山 茂	C10	災害に伴う地域変容 -宮城県気仙沼市を事例に-
15:00 - 15:30	山本 美穂	C11	八溝山麓における農家の戦後史
15:30 - 16:00	深町 加津枝・他	C12	映像記録にみる丹後半島山間部の暮らし -その継承と創造-
16:00 - 16:30	竹本 太郎	C13	明治30年代の山梨県入会御料地における草木利用と保安林編入
16:30 - 17:00	齋藤 暖生	C14	森林文化の継承のためのアーカイブ作成に向けた課題整理 -山菜・キノコ採取活動を題材とした記録媒体の特性の検討-

11月13日(日)

自由論題報告A 教養講義室棟2号館1階 401教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:30 - 10:00	山岸 健一	A14	19世紀後半のドイツ国家学における森林制度論 -ローレンツ・フォン・シュタイン『行政学綱要』「森林制度」の項の検討を中心に-
10:00 - 10:30	堀 靖人	A15	ドイツの森林資源の量的現況 -第3次連邦森林資源調査(BWF ³)の結果から-
10:30 - 11:00	井上 真理子・他	A16	森林・林業の専門教育(高校、大学)の学科名と専門科目
11:00 - 11:30	岡田 航	A17	都市近郊森林資源利用の変容と近代日本 -武蔵国多摩郡堀之内村「誨育学校」における学校林設置経緯を例として-
11:30 - 12:00	峰尾 恵人・他	A18	日本の林業部門におけるイノベーションシステムの形成と発展 -ナショナル・イノベーションシステムとの比較分析-
昼食			
13:00 - 13:30	藤野 正也	A19	生態系サービスへの支払い(PES)が森林所有者の行動に及ぼす影響についての経済学的研究
13:30 - 14:00	高橋 卓也・他	A20	森林からの公共財供給メカニズムの実証計量分析 -森林環境税、森林・山村多面的機能発揮対策交付金、緑の募金を対象として-
14:00 - 14:30	小杉 純・他	A21	シカ銃猟地域における狩猟者の行動様式 -栃木県旧粟野町を事例として-
14:30 - 15:00	大塚 生美・他	A22	松枯れ対策と木質バイオマス利用の複合効果と課題 -岩手県を事例として-
15:00 - 15:30	斉藤 奈央子・他	A23	筑波山北部における松枯れ被害林の現況と住民認識・地域対応の把握

11月13日(日)

自由論題報告B 教養講義室棟2号館1階 404教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:30 - 10:00	趙 楊然	B15	尾瀬国立公園における施設整備・管理の実態 -木道・トイレ・ビジターセンターに着目して-
10:00 - 10:30	三井 貴也	B16	国立公園における登山道管理体制の実態
10:30 - 11:00	新井 愛那・他	B17	屋久島・縄文杉ルートにおける混雑緩和に対するガイドの役割
11:00 - 11:30	久保 雄広・他	B18	奄美における野生動物観察ツアーの経済分析
11:30 - 12:00	三ツ井 聡美・他	B19	奄美群島の住民が抱く自然と地域産業への認識と要望 -テキストマイニングによる解析-
昼食			
13:00 - 13:30	加藤 恵里	B20	私有地の環境保全とNPOの役割 -オーストラリア タスマニア州の事例-
13:30 - 14:00	前田 千春・他	B21	西ジャワにおける国有林の住民共同森林管理システムが地域住民の生計に与える影響 -松脂採取プログラムを事例として-
14:00 - 14:30	林 志澤	B22	日本と韓国の森林レクリエーション価値に関する研究 -日本の高尾山と韓国の北漢山を対象として-
14:30 - 15:00	徐 月明・他	B23	中国における農林千行合作社の設立と農民経営の変容 -浙江省蘭溪市を例として-
15:00 - 15:30	長坂 健司	B24	森林再生と科学的知見の移転 -中国山西省大同市におけるNPO法人緑の地球ネットワークの事例研究-
15:30 - 16:00	赤堀 聡之	B25	中国の森林吸収源政策について

テーマ別セッション① 木質資源利用の現状と課題－発電用の急増動向を踏まえて－ 教育学部棟2階 20教室

時間帯	発表者	番号	題目
9:30 - 10:00	久保山 裕史・他	D1	木質バイオマス発電における熱電併給事業の経済性評価
10:00 - 10:30	古俣 寛隆・他	D2	FIT導入21年目以降の木質バイオマス発電事業に関する一考察 -将来の調達価格などの変動が与える影響-
10:30 - 11:00	風 聡一郎・他	D3	温浴施設における薪ボイラーの導入実態
11:00 - 11:30	根本 和宜・他	D4	家庭向け木質バイオマス燃料の流通構造と課題
11:30 - 12:00	福田 淳	D5	木質バイオマスのエネルギー利用に関する最新の動向について
昼食			
13:00 - 13:30	嶋瀬 拓也	D6	北海道における燃料材需要拡大の影響と需給安定に向けた各主体の取り組み
13:30 - 14:00	都築 伸行・他	D7	北陸地方における県森連による広域集材の実態と木質バイオマス発電プラントの設立に伴う木材需給の変化
14:00 - 14:30	横田 康裕	D8	木質バイオマス発電のための原燃料の安定供給体制の構築
14:30 - 15:00	吉田 美佳	D9	燃料用木質チップのサプライチェーンマネジメント形態と利害関係者の役割
15:00 - 15:30	相川 高信	D10	木質バイオマス発電の需給調整を巡る政府間関係の整理と分析